

ART FAIR TOKYO

MAR 10-12 2023

2023年2月10日
アートフェア東京
プレスリリース No.3

2023年3月10日(金)~12日(日)開催

アートフェア東京

本日より公式HPのARTWORKSにて出品予定作品を公開
ピカソ、ゴッホ、古九谷、小沢剛、舘鼻則孝など注目作品を紹介

2023年版の会場レイアウトも完成、一般チケット絶賛販売中！

国際的アート見本市「アートフェア東京」は、開催まであと1ヶ月を迎え、2月10日より公式HPにて、出展者が一押しする作家の作品を事前に見ることができるARTWORKSを公開します。出展者名やジャンル、作家名で気になる作家やギャラリーを検索できます。

2023年の会場レイアウトもあわせて公開し、各ギャラリーがフェア会場でどのような展示をしてくれるのか徐々に明らかに。今回は、そのなかからいくつかの注目作品とともに、本年よりアートフェア東京に新コミッティとして参加した牧正大氏(MAKI Gallery)からのメッセージもご紹介致します。

【ARTWORKS】

昨年に引き続き、アートフェア東京のHP内に[ARTWORKS](#)のページが開設されます。

各ギャラリーが選んだ「今、見るべき作品」がARTWORKSに並び、フェア開催前から鑑賞することができます。気になる作品、興味がある作品があれば、ギャラリーに問い合わせしてみたいかと思いますが、作品はEXHIBITORSページからもご覧いただけます。

ARTWORKSから一部、注目の作品をセレクトしご紹介いたします。

9年ぶりの参加となる西村画廊は、イギリスでポップ・アーティストとして最も有名な作家の一人ピーター・ブレイクを展示予定。ほかにも海外フェアにも参加し国内外で活躍するアーティストが所属するMISA SHIN GALLERY、タグチファインアート、KOSAKU KECHIKA、そして今年、初の参加となる香港・上海を拠点とするPeal Lam Galleriesなどが、どのようなクオリティの高い作品で私たちを魅了するのか楽しみです。



[西村画廊]
Postcard
ピーター・ブレイク
手彩色写真
81.3×123.5cm
1974/1988



[MISA SHIN GALLERY]
小沢剛
ベジタブル・ウェポンーさんまのつみれ鍋／東京
タイプCプリント
32.6×45cm
2001



[タグチファインアート]
Christiane Löhr
Big Dome
grass stalks
43×44×44cm
2022



[KOSAKU KANECHIKA]
館鼻則孝
Descending Painting Series
アクリルガッシュ、木製パネル
91.0×116.7cm
2022



[Pearl Lam Galleries]
A.A. MURAKAMI,
Artist behind STUDIO SWINE
Cell 3,
Foamed aluminium, stainless steel plinth
Rock Size:58.7 x 48.8 x 54.9
Plinth Size: Dia 50 x H100 cm
2020
Courtesy of the artist and Pearl Lam Galleries

現代を生きるアーティストの作品とともに、巨匠たちの作品が並ぶのも、アートフェアの醍醐味。今年のみぞえ画廊でパブロ・ピカソを、名古屋画廊でファン・ゴッホを展示予定しています。また同じフロアで、中国や日本の古美術を堪能できるのは、アートフェア東京ならではの。数メートル歩くだけで、悠久なる時代を越えることができます。



[みぞえ画廊]
Pablo Picasso
Tete de Femme
oil on canvas
37.9×45.5× cm
1953



[名古屋画廊]
ファン・ゴッホ
織工-窓のある部屋
油彩・板
20.8×41.3cm
1884



[平野古陶軒]
宋磁小盃



[繭山龍泉堂]
五彩三龍山水筆架



[Gallery Togeisha]
色繪古九谷菊牡丹文蓋物

将来期待される若手アーティストは、今、ジャンルを超えて表現の幅を広げています。写真、漆、日本画、書画とそれぞれのもつ特性を生かしながら、これまでできなかった限界点を見つけようとしているのです。かつて「前衛」であることを標榜したアーティストたちも、同じく表現の限界を越えるためにあらゆることを試し、もがきました。アートは常に革新を夢見る存在なのかもしれません。



[biscuit gallery]
岡田佑里奈
Stare 012.
パネル、モデリングペースト、写真
380×50×455cm
2023



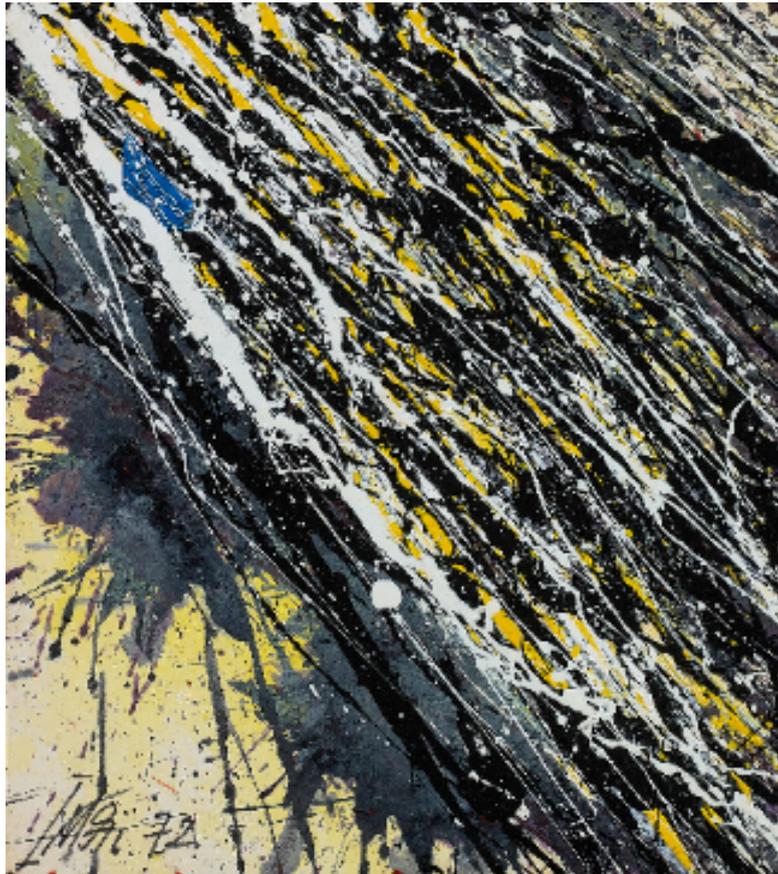
[金沢卯辰山工芸工房]
Mirage
五月女晴佳
漆、金箔、麻布
55×23×47cm



[ギャラリーMOS]
甲村有未菜
cloudy day
紙本着彩
41×3×41cm
2021



[Gallery NAO MASAKI]
ハシグチリンタロウ
SO MANY LIFE, SO MANY DEATH
紙、ペンキ
302x160cm
2023



[GALLERY HAYASHI + ART BRIDGE]

今井俊満

ONDE

油彩、色紙

24.2×27.3cm

1972

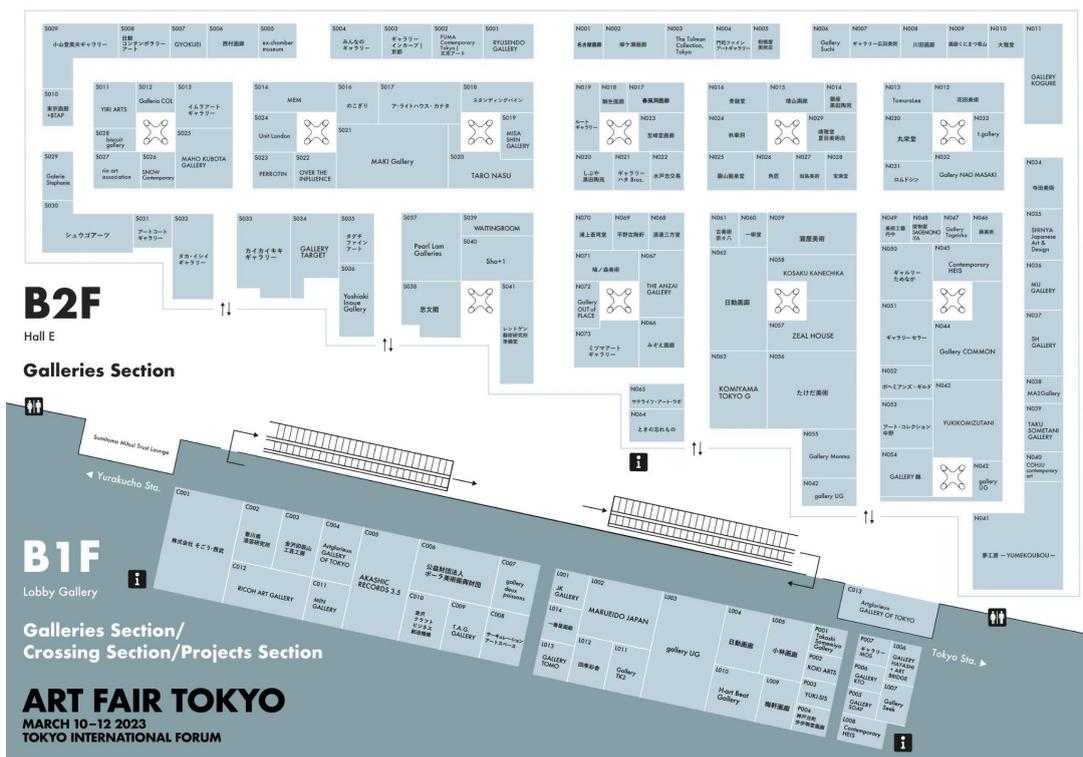
【会場レイアウト】

今年も、Galleries、Crossing、Projectsという3セクションに多彩なギャラリーが集います。

Galleries(123ブース:S、N、L) ホールE/ロビーギャラリー 国内外で活躍する商業ギャラリー・美術商が出展するセクション
--

Crossing(13ブース:C) ロビーギャラリー 多彩なアートの分野が交差するセクション

Projects(7ブース:P) ロビーギャラリー アートシーンで注目すべき作家を個展形式で発表するセクション
--



マップの見方: ブース番号の前のアルファベットで、どのセクションなのかすぐにわかります。

- 「S」: Galleries B2FのHall E 南側 (マップ上の左側)
- 「N」: Galleries B2FのHall E 北側 (マップ上の右側)
- 「L」: Galleries B1FのLobby Gallery
- 「C」: B1FのLobby Gallery 有楽町駅側 / B2FのHall E南側向かい
- 「P」: Projects B1FのLobby Gallery 東京駅側

【コミッティからのご挨拶】

アートフェア東京コミッティ
 牧正大 (MAKI Gallery)

今年はパール・ラム・ギャラリーをはじめ、海外のギャラリーも7軒参加していますし、コロナ禍で足止めされていた海外のお客様、またあらたに東京に興味をもっている海外のお客様が、今後徐々に増えていくと感じています。2022年のアートウィーク東京、2023年のArt Collaboration Kyoto (ACK)でも顕著に見られた傾向でした。そうすると国内のフェアではなく、否応なく海外のフェアと比べられていくでしょう。私たちもそれに備えないといけな。どのような展示をして、どのような接客をして、どのようなプロモーションをするか、ひとつひとつにクオリティを求められる時代がやってくると感じています。アートフェア東京は古美術から近代、現代まで日本に脈々と流れる美術の歴史をフェアで見られることを武器に、それぞれのジャンルでどんな作品をお客様に見ていただくのか、正念場を迎えるこの時期だからこそ、国際的に評価されるフェアになっていくチャンスなのです。

フェアコミッティを引き受けたのは、1ギャラリーとして参加する以上に、ギャラリーの皆さんとより質の高いフェアを目指したいと思ったからです。誰からみても、これはすごい展示だな、よい作品が揃っているなという感想をもていただけるフェアになっていけば、そこに参加するギャラリー、アーティストのブランド価値も自然と上がっていきます。コミッティの皆さんと議論を重ね、ギャラリーさんと協力して、世界からみたフェアのポジションをあげていける方向を探っていきたいと思っています。

【一般チケット販売中】

2023年のアートフェア東京も、コロナ感染拡大防止と混雑緩和のため入場はすべてご予約制となっております。時間ごとに入場人数の制限がございますので、ご都合の良い日時でぜひ早めにご購入くださいますと幸いです。詳細は下記よりお申し込みください。

■一般チケット販売(12月19日17時より):

前売券：4,000円(税込)

予約当日券：5,000円(税込)

※小学生以下は、大人同伴に限り入場無料

【報道各位】

下記、リンク先よりプレス関係者のための入場チケット(プレス関係者無料)と、オープニングセレモニー(9日10:30~)にお申し込みいただけます。申込みをされたプレス関係者の皆様は、当日、東京国際フォーラム B1F東京駅側インフォメーションにございますプレスデスクにて名刺のご提示をいただき、受付をお願いいたします。

特にスチール、ムービーにかかわらず、撮影をする場合は腕章が必要になりますので、ご注意ください。

※媒体がない方、不明な方はプレスとしてのご入場をお断りすることがございますので、あらかじめご了承ください。その場合は、上記一般チケット販売をご利用ください。

■プレス申込み(入場チケット/プレスカンファレンス)

□オープニングセレモニー

3月9日(木)10:30~11:00

※オープニングセレモニーは予約制です。

ご入場に限りがございますので、お早めにお申し込みください。

※17時から省庁、大使館の方に向けたセレモニーも開催されます。

取材は自由におこなえます。

□プレス関係者は、招待日も含めてご予約が可能です

ご招待日 3月9日(木) 11:00 - 19:00

一般会期 3月10日(金)11:00 - 19:00

3月11日(土)11:00 - 19:00

3月12日(日)11:00 - 16:00

下記よりお申し込みください。

過去のプレスリリース、ロゴ等は下記よりダウンロードいただけます。

リンク

<実施概要>

名称:アートフェア東京2023

会期:2023年3月10日(金)~12日(日)

3月 9日(木)[招待日] 11:00 - 19:00

3月10日(金) 11:00 - 19:00

3月11日(土) 11:00 - 19:00

3月12日(日) 11:00 - 16:00 ※開催時間全て予定

会場:東京国際フォーラム ホールE / ロビーギャラリー(東京都千代田区丸の内3-5-1)

入場料:前売券 4,000円(税込) / 予約当日券 5,000円(税込)

※小学生以下は、大人同伴に限り入場無料

主催:アートフェア東京2023制作委員会

(一般社団法人アート東京 / Art Tokyo Global Japan株式会社 / エートーキョー株式会社)

協賛:三井住友トラスト・グループ(三井住友信託銀行株・三井住友トラストクラブ株)

東京建物 | Brillia

パートナーホテル:ザ・ペニンシュラ東京

後援:内閣府 外務省 経済産業省 厚生労働省 文化庁 観光庁

94か国の大使館(詳細はアートフェア東京 HPIに掲載:<https://artfairtokyo.com/partner>)

アートフェア東京2023は「日本博参画プロジェクト」です。

ホームページ:<http://artfairtokyo.com>

問い合わせ:アートフェア東京2023制作委員会 E-mail: info@artfairtokyo.com